

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
肺癌(扁平上皮) CBDCA+PAC+Ipilimumab+Nivolumab療法		42日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1,22	① アブレピタントカプセル125mg 抗がん薬投与1時間～1時間30分前に内服 ② ジフェンヒドラミン錠10mg 5錠		
day1	① 生理食塩水 50mL(プライミング用) ② 生理食塩水 100mL+ニボルマブ 360mg 投与時は0.2又は0.22 μ mのインラインフィルター使用。 最終濃度は0.35mg/mL以上とする。 体重30kg未満の場合、総液量100mL以下とする。 ③ 生理食塩水 100mL ④ 生理食塩水 20mL+イピリムマブ 1mg/kg 投与時は0.2～1.2 μ mのインラインフィルター使用。 最終濃度は1～4mg/mLとする。 ⑤ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用) ⑥ グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg+デキサメタゾン 9.9mg+ファモチジン 20mg点滴開始と同時にジフェンヒドラミン錠10mgを5錠内服 ⑦ 生理食塩水 100mL ⑧ 生理食塩水 500mL+パクリタキセル 200mg/m ² 0.22 μ m以下のインラインフィルター使用 ⑨ 5%ブドウ糖液 250mL+カルボプラチン(AUC6) ⑩ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用)		
day22	① 生理食塩水 50mL(プライミング用) ② 生理食塩水 100mL+ニボルマブ 360mg 投与時は0.2又は0.22 μ mのインラインフィルター使用。 最終濃度は0.35mg/mL以上とする。 体重30kg未満の場合、総液量100mL以下とする。 ③ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用) ④ グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg+デキサメタゾン 9.9mg+ファモチジン 20mg点滴開始と同時にジフェンヒドラミン錠10mgを5錠内服 ⑤ 生理食塩水 100mL ⑥ 生理食塩水 500mL+パクリタキセル 200mg/m ² 0.22 μ m以下のインラインフィルター使用 ⑦ 5%ブドウ糖液 250mL+カルボプラチン(AUC6) ⑧ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用)		
コメント	Rp.6点滴開始と同時にジフェンヒドラミン50mg内服 Day2-4, Day23-25 デキサメタゾン4mg内服可 Day2,3, Day23, 24 朝食後にアブレピタント80mg内服 1サイクル実施後、イピリムマブ+ニボルマブ療法に移行		

プロトコールに関する解説

CheckMate 227レジメンでは治療早期の腫瘍縮小が得られなかったため、プラチナ併用療法を追加した本法が検討されました。プラチナ併用療法と比較して良好なデータは得られていますが、十分な観察期間を経ないで承認されており今後の情報に注意が必要です。加えてプラチナ併用療法よりも長期化しやすい免疫関連有害事象が増えるため注意が必要です。肺癌診療ガイドライン2020年度版には掲載されておらず、その位置づけや推奨度は不明です。